

令和4年度

事業計画 ~~(案)~~

社会福祉法人 えがりて

目 次

経営方針・中期ビジョン・取り組むべき重点課題・重点目標	・ ・ ・ ・	1
職員配置	・ ・ ・ ・	3
理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会 監査、特養全体行事、採用計画、職員面接計画	・ ・ ・ ・	4
避難訓練	・ ・ ・ ・	5
会議一覧	・ ・ ・ ・	6
委員会一覧	・ ・ ・ ・	8
ダイバーショナルセラピー（DT）事業計画	・ ・ ・ ・	10
実習受入一覧	・ ・ ・ ・	11
研修計画	・ ・ ・ ・	12
1. 特別養護老人ホーム吹上苑	・ ・ ・ ・	14
2. ユニット型特別養護老人ホーム吹上苑 年間行事予定	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	15 16
3. 短期入所生活介護事業所吹上苑 タイムスケジュール 年間行事予定	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	20 21 22
4. 栄養課 年間行事予定	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	23 24
5. デイサービスセンター吹上苑 タイムスケジュール 年間行事予定	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	25 26 27
6. あかね雲吹上苑（地域密着型通所介護） タイムスケジュール 年間行事予定	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	28 29 30
7. 介護予防教室吹上苑（はつらっデイサービス） タイムスケジュール	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	31 32
8. 居宅介護支援事業所吹上苑	・ ・ ・ ・	33
9. 鴻巣地域包括支援センター吹上苑	・ ・ ・ ・	34

経営方針

1. <利用者に対して：心に寄り添って>

社会福祉法人えがりて職員は、コロナ禍においても、ひとり一人の利用者のクオリティ・オブ・ライフ（人生の質）の向上を目指し、支援する

2. <職員として：チームワーク>

社会福祉法人えがりて職員は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大時や洪水などの災害発生時においても、エッセンシャルワーカーとしての自覚を持ち、多職種が連携・協働し、事業が継続的に提供できる体制を構築する

3. <地域に対して：支え合い>

社会福祉法人えがりて職員は、アフターコロナを見据え、福祉・介護・医療の専門職として、吹上地域の地域包括ケアシステムの推進に貢献する

中期ビジョン

1. 令和3年度の介護報酬改定では、感染症や災害への対応力強化、地域包括ケアの推進、科学的介護に裏付けられた質の高いサービスの提供などを図ることが示された。吹上苑では以下の課題に積極的に取り組む

- 1) LIFE（科学的介護情報システム）の活用
- 2) 栄養マネジメント強化加算・褥瘡マネジメント加算の取得
- 3) 看取りの時期における本人の意思を尊重した医療・ケアの方針決定に対する支援の充実
- 4) リスクマネジメント委員会・虐待防止検討委員会の円滑な運営
- 5) 感染症・災害発生時の吹上苑 BCP（事業継続計画）の策定
- 6) 介護職員等の新たな処遇改善加算の取得
- 7) 無資格介護職員対象の認知症介護基礎研修の受講
- 8) 中堅介護職員対象の認知症介護実践者研修の受講

2. コロナ禍の長期化を見据え、令和2・3年度クラスターの発生を防止できた経験を踏まえ、今後も感染対策を継続するとともに、常に感染対策に向き合わなければならない職員のメンタルヘルスケアに取り組む

3. コロナ禍での面会制限の長期化が利用者・家族に及ぼす負の影響や、アフターコロナも見据え、利用者と家族の関係改善や、コミュニケーションが活性化する面会や行事の取り組みを進める

4. コロナ禍で令和2・3年度法人内の在宅サービス事業の収入減が明確になったため、経営改善会議を立上げ、収支改善に向けた取り組みを促進し、経営基盤の強化を目指す

5. コロナ禍でオンラインによる研修や会議などが手軽に活用できることが明らかになったことから、積極的に活用するとともに、アフターコロナを見据え、研修制度を見直す

取り組むべき重点課題

1. 社会福祉法人えがりては、新型コロナウイルス感染症のクラスター対策を講じるとともに、発生時に備える必要がある
2. 社会福祉法人えがりては、利用者と家族の良好な関係を築くための面会方法や行事を検討する必要がある
3. 社会福祉法人えがりては、コロナ禍で高齢者ケアについて語り合う研修の機会が減少したため、研修制度を見直す必要がある
4. 社会福祉法人えがりては、コロナ禍で利用者の減少に直面した在宅サービスの運営方法を見直す必要がある
5. 社会福祉法人えがりては、将来の介護労働力不足を考慮し、ユニット型特養の食事提供方法を見直す必要がある

重点目標

1. 社会福祉法人えがりては、基本的な感染対策を徹底し、全職員がより一層健康管理に努めるとともに、高齢者施設職員対象の PCR 検査を継続する。また万が一に備え、適切な感染管理ができる体制や療養環境を整備する
2. 社会福祉法人えがりては、利用者や家族の想いに応えるため、基本的な感染対策を徹底した上で、春・秋の季節には、利用者と家族が対面で語り合える苑庭での青空面会を、夏には、小規模なふっきい祭（参加家族の人数制限あり）を開催する
3. 社会福祉法人えがりては、オンライン研修を十分に活用するとともに、基本的な感染対策を徹底し、勤務時間内での小規模研修を開催し、研修テーマ別のグループワークをメインに、ケアの質の向上を目指すとともに、職員間のコミュニケーションの活性化を図る
4. 社会福祉法人えがりては、コロナ禍で在宅の要介護高齢者（特に独居・日中独居）の急速に高まる暮らしのニーズや、軽度者の運動のニーズに応えたサービスを提供する
5. 社会福祉法人えがりては、ユニット型特養の配膳方式を、栄養課が管理する効率的な中央配膳方式に変更する

職員配置

令和4年4月1日現在

【全職員数:194名(内、非常勤:95名)】

		職員数内訳			資格 (延べ人数)			
		常勤	非常勤					
			常勤換算					
職 種	施設長	1			保健師、看護師、介護支援 専門員、社会福祉士			
	副施設長	1			看護師、社会福祉士 介護福祉士			
	総務課	事務員	6	2	0.5			
	看護課	事務員		1	0.1			
	特別養護老人ホーム (併設短期入所生活介護)	生活相談員	2			介護支援専門員1名 介護福祉士2名		
		介護支援専門員	2			介護支援専門員2名 社会福祉士1名、介護福祉士2名		
		看護師	2	5	3.4	看護師5名、准看護師2名		
		機能訓練指導員	1	1	0.8	看護師2名 介護支援専門員1名		
		ユニット型特養	ケアワーカー	特別養護老人ホーム (併設短期入所生活介護)	29(育休3)	20	9.5	介護支援専門員2名、社会福祉 士3名、介護福祉士34名
				ユニット型特養	23(育休1)	14	6.6	介護支援専門員3名 社会福祉士3名、介護福祉士28名
			運転手		2	0.6		
	送迎助手		1	0.07				
	栄養課	管理栄養士	特別養護老人ホーム (併設短期入所生活介護)	1				
			ユニット型特養	1				
		栄養士	5(育休1)	1	0.5			
		調理師	3					
		調理員		9	3.9			
	デイサービスセンター (通所介護 鴻巣市介護予防 通所介護相当サービス)	生活相談員	1			介護福祉士		
		生活相談員・ケアワーカー	2			介護支援専門員1名 介護福祉士2名		
		看護師		2	1.6	看護師2名		
		ケアワーカー	3(育休1)	14	6.2	介護福祉士8名		
		運転手		4	1.6			
		調理員		1	0.5			
	地域包括支援センター	管理者兼主任介護支援専門員	1			主任介護支援専門員3名 看護師4名		
		主任介護支援専門員	1			介護支援専門員8名 社会福祉士5名		
		看護師	2					
		社会福祉士	4(育休2)	1	1			
	居宅介護支援事業所	介護支援専門員	4			主任介護支援専門員1名 介護支援専門員4名 介護福祉士4名		
	介護予防教室 (鴻巣市はつらつデイサービス)	ケアワーカー	1	4	1.6	主任介護支援専門員1名 介護支援専門員2名 介護福祉士1名 管理栄養士1名		
	宿直			3	1.5			
用務員			1	0.4				
あかね雲吹上苑 (地域密着介護通所介護 鴻巣市介護予防 通所介護相当サービス 基準該当障害福祉 サービス)	管理者兼生活相談員	1			社会福祉士、介護福祉士			
	生活相談員	1			介護福祉士			
	看護師		1	0.7	看護師			
	ケアワーカー	1	6	3.6	介護支援専門員1名 介護福祉士7名			
	運転手		2	0.6				
計		98	95	45.27	(実人数)			

理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会、監査、特養全体行事、採用計画、職員面接計画

理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会

項目	予定年月日	内容	担当
第1回理事会	令和4年5月下旬	令和3年度事業報告（案）、決算報告（案） 役員（理事）候補者の選定、評議員候補者の選定	施設長 総務課
第1回評議員会	令和4年6月中旬	令和3年度決算報告（案）、役員（理事）の選任について	施設長 総務課
第1回評議員選任・解任委員会	令和4年6月中旬 (第1回評議員会と同日)	評議員の選任	総務課
第2回理事会	令和4年12月中旬	令和4年度補正予算（案）など	施設長 総務課
第3回理事会	令和5年3月下旬	令和5年度事業計画（案）、予算（案）など	施設長 総務課

監査

項目	予定年月日	内容	担当
内部監査	令和4年5月中旬	令和3年度事業内容、決算資料等の調査など	施設長 総務課 各部署リーダー 介護支援専門員 相談員
社会福祉施設・社会福祉法人 実地指導	令和4年8月頃	鴻巣市：法人運営・財務管理 埼玉県：運営監理・介護給付・処遇	施設長 総務課 各部署リーダー 介護支援専門員 相談員
鴻巣市地域包括支援センター 実地指導（鴻巣市）	令和4年12月頃	業務委託契約の規定に基づく運営状況の確認	施設長、総務課 包括職員

特養全体行事

項目	予定年月日	内容	担当
青空面会	令和4年4月～6月 令和4年9月～11月	屋外（苑庭や玄関キャノピー下）にて基本的感染対策を徹底し、予約制で開催 外気温に合わせて面会時間を変更 多職種（介護福祉士・看護師・管理栄養士・介護支援専門員・生活相談員）による入居者の近況報告	施設長 介護支援専門員 生活相談員 ユニットリーダー サブリーダー 看護師 管理栄養士
令和4年度家族会総会 （書面にて）	令和4年6月19日（日）	（吹上苑）令和3年度事業報告 令和4年度事業計画について （家族会）令和3年度事業報告 令和4年度事業計画案の承認について 新役員の承認について	施設長 介護支援専門員 生活相談員
第10回ふっきい祭 （家族参加）	特養 令和4年7月24日（日） ユニット型特養 令和4年8月7日（日）	吹上苑マスコットキャラクター”ふっきい”とともに、 ゲーム大会（お菓子釣り・輪投げ・スマートボール等） 開催日前の県内感染状況を基に家族参加の可否を判断 感染対策を徹底し、参加人数の上限を設定、分散化開催 飲食を伴う模擬店中止	施設長 介護支援専門員 生活相談員 総務課 栄養課 実行委員
令和4年度敬老会 （ユニット開催）	令和4年9月19日（月）祝	敬老会式典開催（喜寿・米寿・白寿・最長寿者） 小規模開催（写真撮影・祝い膳・紅白饅頭）	ユニットリーダー サブリーダー

採用計画

項目	予定年月日	内容	担当
令和5年度採用試験	随時開催	9:30～12:00（小論文、面接）	総務課

職員面接計画

項目	予定年月日	内容	担当
部署単位面接	令和4年4月～令和5年3月	対象者：主に入職3年未満職員と面接希望の職員 面接者：（特養）ユニットリーダー、主任リーダー、施設長 （特養以外）部署リーダー、施設長	施設長 主任リーダー 部署リーダー ユニットリーダー

避難訓練

洪水時避難訓練

訓練想定	予定年月日	対象
日中	令和4年6月14日	法人全体
夜間	令和4年7月15日	従来型特養、ユニット型特養、ショートステイ
日中・浸水	令和4年8月17日	法人全体

火災時避難訓練

訓練想定	予定年月日	対象
日中	令和4年9月	従来型特養、ユニット型特養、ショートステイ、 デイサービス、介護予防教室、居宅、包括
日中	令和4年9月	あかね雲
夜間	令和5年2月	従来型特養、ユニット型特養、ショートステイ
日中	令和5年2月	あかね雲

会議一覧

	会議名	部署 担当	予定 回数	日程												内容
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	運営会議	[法人] 関口	12回	13 水	11 水	15 水	13 水	10 水	14 水	12 水	16 水	14 水	11 水	15 水	15 水	法人全事業所の運営管理 各事業運営の検討 各部署の責任者が参加
2	防災・災害対策検討会議	[法人] 関口	6回		11 水	15 水	13 水	10 水	14 水	12 水						地震や風水害の災害に備 え、災害予防・災害対策、 避難訓練について検討
3	感染対策会議	[法人] 関口	6回		11 水		13 水		14 水		16 水		11 水		15 水	高齢者が発病しやすい 感染症の予防や対応策 について検討
4	栄養会議	[法人] 吉田(三)	12回	13 水	11 水	15 水	13 水	10 水	14 水	12 水	16 水	14 水	11 水	15 水	15 水	栄養課業務検討 各部署の責任者が参加
5	経営改善会議	[法人] 関口	6回	4 月		6 月		1 月		3 月		5 月		6 月		経営状況報告 改善等について検討
6	特養リーダー会議	[特養・ショートステイ] 稲葉・青木 松尾 小田・河田	6回	14 木		9 木		11 木		13 木		8 木		9 木		特養、ショートステイの 事業運営の検討 サブリーダー以上の参加
7	ユニット型特養リーダー会議	[特養] 島崙・伊藤(順) 田端(智)・今江	6回		12 木		14 木		8 木		10 木		12 木		9 木	ユニット型特養の事業運営の検討 サブリーダー以上の参加
8	ダイバーショナルセラピー 運営会議	[特養] 吉田(三)	2回						8 木					12 木		ダイバーショナルセラピー の全体的な運営
9	ユニット職員業務会議	[特養] ユニット リーダー サブリーダー	12回	各ユニットで日程を調整												各ユニットの業務検討 ケアカンファレンス ユニット内職員全員参加
10	特養・ショートステイ 短時間勤務職員業務改善会議	[特養] 関口 飯嶋 星	1回						6 火							短時間勤務職員の業務検討
11	特養介護支援専門員・ 生活相談員業務会議	[特養] 飯嶋	3回	13 水				10 水					14 水			介護支援専門員、 生活相談員の業務検討
12	看護課業務会議	[特養] 星	12回	随時調整												看護課業務検討 ケアカンファレンス
13	総務課業務会議	[総務課]	2回	随時調整												総務課業務検討 総務課職員全員参加
14	栄養課業務会議	[栄養課] 吉田(三)	12回	随時調整												栄養課業務検討 栄養課職員全員参加
15	ショートステイ業務会議	[ショートステイ] 小田 河田	12回	随時調整												ショートステイ業務検討 ケアカンファレンス ショートステイ職員全員参加
16	デイサービス業務会議	[デイ] 田端(江)	12回	21 木	19 木	16 木	21 木	18 木	15 木	20 木	17 木	15 木	19 木	16 木	16 木	デイサービス業務検討 ケアカンファレンス デイサービス職員全員参加
17	デイサービス介護助手業務会議	[デイ] 田端(江)	1回										12月			デイサービス介護助手業務検討 デイサービス介護助手職員全員参加
18	居宅ケアマネ業務会議	[居宅] 高木(勝)	毎週 開催	随時調整												居宅業務・在宅困難事例の検討 居宅職員全員参加
19	地域包括支援センター 業務会議	[包括] 阿部(加)	12回	11 月	9 月	13 月	11 月	8 月	12 月	17 月	14 月	12 月	16 月	13 月	13 月	包括業務検討 包括職員全員参加
20	地域ケア会議	[包括] 阿部(加)	8回	11 月	9 月	13 月			12 月	17 月	14 月		16 月		13 月	困難事例や地域課題の検 討、情報交換等

	会議名	部署 担当	予定 回数	会議日程												内容
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
21	包括型自立支援型地域ケア会議	[包括] 阿部(加)	2回					22 月					12 月			アドバイザーと自立に向けたケアプランを検討
22	吹上地域ネットワーク会議	[包括] 阿部(加)	2回				11 月								13 月	地域のネットワークのための情報交換
23	あかね雲業務会議	[あかね雲] 井上(貴)	12回	随時調整												あかね雲業務検討 ケアカンファレンス あかね雲職員全員参加
24	あかね雲運営推進会議	[あかね雲] 井上(貴)	2回				27 水								22 水	あかね雲の運営状況について検討 利用者、家族、住民、行政などが参加
25	介護予防教室業務会議	[介護予防教室] 川上(由)	12回	随時調整												介護予防教室業務検討 介護予防教室職員全員参加

委員会一覧

	委員会名	部署	日程											内容	委員長・委員				
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月				3月		
1	苦情解決委員会	法人	28 木								27 木						法人内の苦情を解決する	第三者委員(手島・吉田(け)) 施設長、各部署の責任者	
2	虐待防止検討委員会	特養 ショートステイ デイ 居宅 包括 あかね雲	13								12						虐待の発生を防止するための対策を検討	施設長、事務長 各事業所の責任者	
			水									水							
3	身体的拘束適正化委員会	特養 ショートステイ	13	11	15	13	10	14	12	16	14	11	15	15			適正な身体的拘束に取り組む	施設長、生活相談員 介護支援専門員 看護課リーダー リーダー	
			水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水			
4	特養 優先入所検討委員会	特養 ショートステイ デイ 居宅 包括 あかね雲	14	12	9	14	18	8	13	10	8	12	9	9			次期入居者の検討	第三者委員(菅間) 施設長、各部署の責任者	
5	ユニット型特養 優先入所検討委員会		木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木				
6	衛生委員会	法人	13 水	11 水	15 水	13 水	10 水	14 水	12 水	16 水	14 水	11 水	15 水	15 水			職場内の衛生管理	各部署の代表者 産業医	
7	医療安全委員会	特養		11 水								14 水					口腔内のたん吸引などの医療行為について検討	看護課、施設長 配置医師、管理栄養士 主任リーダー、リーダー 生活相談員、介護支援専門員	
8	マニュアル見直し委員会	特養						14 水						15 水			マニュアルの見直しについて		
9	褥瘡予防対策委員会	特養	13 水			13 水			12 水				11 水				褥瘡予防対策について		
10	特養 リスクマネジメント委員会	特養		26 木		28 木		22 木		24 木		26 木		23 木			事故防止、発生した自己に対する迅速かつ最善の対応を協議、再発防止策を構築する	施設長 介護主任リーダー、リスクマネージャー 介護支援専門員、生活相談員 ユニット介護リーダー 看護課リーダー、栄養課リーダー 配置医師	
11	ユニット型特養 リスクマネジメント委員会	特養	28 木		23 木		25 木		27 木		22 木		23 木						
12	特養 福祉用具活用委員会	特養		26 木		28 木		22 木		24 木		26 木		23 木			個々の入居者に適した福祉用具の選定・調整や機能訓練の検討 事故の検討、事故防止、適切なケアの検討	石川 榑島	施設長 星 戸田
13	ユニット型特養 福祉用具活用委員会	特養	28 木		23 木		25 木		27 木		22 木		23 木					高橋(寛) 斎藤(恵)	
14	認知症ケア委員会	特養	8 金		10 金		12 金		14 金		9 金		10 金				認知症ケアマッピングの普及、事例検討	岸野 加藤美紅・田端(智) 施設長、松田、小松、戸田	
15	コンチネンスケアサポート委員会	特養	11 月					12 月					13 月				個々の入居者に適したオムツの選定、適切な排泄ケア、技術を検討	青木 長嶋・赤池・齊藤(享) 木村(安)・水野・馬場・河合 看護課、栄養課	
16	ふっきい祭実行委員会	特養			15 水	13 水											ふっきい祭の企画・運営	施設長 看護課、栄養課 介護支援専門員、生活相談員 ユニットリーダー、サブリーダー	
17	ダイバーショナルセラピー委員会	特養		27 金		22 金		23 金		25 金		27 金		24 金			ルームビジット等の実施・運営	松尾 笹原・田島(圭) 塩谷・今江・木村(美)	
18	書道教室委員会	特養	17 日	15 日	19 日	17 日	21 日	18 日	16 日	13 日	18 日	15 日	19 日	19 日			書道教室の実施・運営	加藤美砂子 田中(知)、澤田・酒井	

	委員会名	部署	日程													内容	委員長・委員	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
19	苑内喫茶 花＊花委員会	特養 栄養課	3 日	1 日	5 日	3 日	14 日	4 日	2 日	6 日							花＊花の実施・運営 (栄養課の手作りお菓子提供)	佐藤(祥) 坂本(貴)・田島(紀) 高重・野澤 栄養課、生活相談員、看護課
20	栄養課出張寿司委員会	特養 栄養課	9月～3月の予定													D T出張寿司の 実施・運営	吉田(三) 小淵・茂木・小川(莉)	

ダイバーショナルセラピー(DT)事業計画

プログラム名	活動目的	実施日時	対象者	企画・担当 講師等
ルームビジット	身体機能の低下により、居室で過ごす時間が長くなりがちな入居者を対象に、職員が居室を訪室し、アロマセラピーを施す。また、楽しかった思い出を振り返る。	奇数月の第4金曜日 14：00～15：00	臥床時間が長い方 (看取りの方も含む)	セラピー ワーカー6名
オクタバンド体操	慣れ親しんだユニットで、職員と一緒にオクタバンドを使って身体を動かし、心身のストレスを解消する。	随時	どなたでも	セラピー ワーカー6名
パドル体操	笑いのある人生を！笑いながら（笑顔）体操をすることでストレスを解消する。パドルをあらゆる方法で使い、体に無理なく楽しく体操をする。曲に合わせて身体を動かすことで免疫力を高める。	(特養) 毎月第2木曜日 14：00～15：00	どなたでも	委員4名
		(ショートステイ) 毎月第1・3木曜日 毎月第2金曜日 14：00～15：00	どなたでも	外部インストラクター 委員1名
		(あかね雲) 毎月第2木曜日 14：00～15：00	どなたでも	外部インストラクター
苑内喫茶 花＊花	ゆっくりとお菓子と飲み物をいただきながら、普段会わない人と交流し、楽しい時間を過ごす。	4月～11月 第1日曜日 13：30～15：00	どなたでも	委員7名
書道教室	笑いのある環境で、文字を書くことを楽しむ。 ・筆の感触、墨の香りに懐かしさを感じる ・作品の出来栄に一喜一憂する ・文字を通して笑顔になる	毎月第3日曜日 14：00～15：00	どなたでも	委員4名
栄養課出張寿司	新鮮なお寿司をいただきながら、寿司屋に来ている気分を楽しむ。	9月～3月 月1回(午前～昼食) 各ユニット・各部署	どなたでも	栄養課
パブリック園芸	四季折々の花や野菜、果物を育て、成長を楽しみながら、収穫物を調理し、味わって楽しみを得る。	随時	園芸の好きな方	委員3名
パブリックシネマ	映画を観て、感動する機会を持つ。 ・楽しめる ・集中できる ・気分転換できる	随時 各ユニットで実施	どなたでも	特養生活相談員
カラオケクラブ	懐かしい旋律に触れ、心が和む。声を出して歌い、リフレッシュを図る。マスクを着用し、感染症対策を行いながら安全に楽しむ。	随時 各ユニットで実施	どなたでも	各ユニット
大人の塗り絵クラブ	創作活動を通し、他者との心の交流、コミュニケーションを楽しむ。楽しいイメージを心に浮かべ、自由に色を塗り、自分の表現に自信を持つ。	随時 各ユニットで実施	どなたでも	特養生活相談員

実習受入一覧

月	社会福祉士	介護福祉士	看護師	その他
4			北里大学看護専門学校	
5			北里大学看護専門学校 熊谷市医師会看護専門学校	
6			北里大学看護専門学校 熊谷市医師会看護専門学校	
7			北里大学看護専門学校 埼玉県立大学（総合実習） 日本赤十字看護大学 埼玉県看護協会認定看護管理者 教育課程セカンドレベル	
8		淑徳短期大学部		
9	立正大学		北里大学看護専門学校 熊谷市医師会看護専門学校 日本赤十字看護大学	
10	立正大学		熊谷市医師会看護専門学校 日本赤十字看護大学	
11	立正大学		熊谷市医師会看護専門学校 日本赤十字看護大学	立正大学(見学実習) 訪問看護師養成研修
12			日本赤十字看護大学	
1		淑徳短期大学部		
2		淑徳短期大学部	日本赤十字看護大学	
3			日本赤十字看護大学	

研修計画

研修目的：専門職業人、組織人として成長する。

研修目標：①各年次研修を通じて、介護技術を習得し、スキルアップを図る

②知識・技術の再確認を行い、各職種の専門性の向上と多職種協働を目指す

4月	5月	6月
<p>4/1 (金) 入職時オリエンテーション</p> <p>4/18 (月) 学習会 ①感染症及び食中毒予防 担当：栄養課 ②緊急・急変時の対応 観察事項と24時間オンコール体制 担当：看護課 ③褥瘡予防 担当：看護課</p> <p>4/21 (木) 22 (金) 1年目研修 介護技術研修 I</p>	<p>5/19 (木) 学習会 ①感染症及び食中毒予防 担当：栄養課 ②緊急・急変時の対応 観察事項と24時間オンコール体制 担当：看護課 ③褥瘡予防 担当：看護課</p>	<p>6/3 (金) 2年目研修 介護技術研修 II</p> <p>6/16 (木) 学習会 食中毒 担当：栄養課</p> <p>6/17 (金) 研修 I 認知症ケア(パーソン・センタード・ケア) 担当：認知症ケア委員会</p> <p>6/24 (金) 法人リーダー現任教育研修</p>
7月	8月	9月
<p>7/15 (金) 29 (金) 特養ケアプラン学習会 担当：特養介護支援専門員</p> <p>7/20 (水) 研修 I 認知症ケア(パーソン・センタード・ケア) 担当：認知症ケア委員会</p>	<p>8/19 (金) 研修 II ①虐待防止 担当：松尾、今江 ②リスクマネジメント 担当：リスクマネジメント委員会 高橋 (寛)、石川 ③福祉用具 担当：福祉用具活用委員会 高橋 (寛)、石川</p>	<p>9/16 (金) 研修 II ①虐待防止 担当：松尾、今江 ②リスクマネジメント 担当：リスクマネジメント委員会 高橋 (寛)、石川 ③福祉用具 担当：福祉用具活用委員会 高橋 (寛)、石川</p> <p>9/20 (火) 学習会 ①感染症 担当：看護課 ②看取り介護 担当：看護課 ③身体拘束 担当：特養生活相談員</p>

10月	11月	12月
<p>10/7 (金) 講演会 高齢者虐待防止について 講師：立正大学 土屋 典子先生</p> <p>10/20 (木) 学習会 ①感染症 担当：看護課 ②看取り介護 担当：看護課 ③身体拘束 担当：特養生活相談員</p>	<p>11/21 (月) 研修Ⅲ ①新型コロナ感染対策 ・予防策 ・ゾーニング ・防護具着脱訓練 担当：看護課 ②たん吸引 担当：看護課</p>	<p>12/19 (月) 研修Ⅲ ①新型コロナ感染対策 ・予防策 ・ゾーニング ・防護具着脱訓練 担当：看護課 ②たん吸引 担当：看護課</p>
1月	2月	3月
<p>1/19 (木) 学習会 ①腰痛予防 担当：リスクマネジメント委員会 高橋 (寛) ②口腔ケア 担当：看護課</p>	<p>2/14 (火) 学習会 ①腰痛予防 担当：リスクマネジメント委員会 高橋 (寛) ②口腔ケア 担当：看護課</p> <p>2/20 (月) 研修Ⅳ ①委員会活動報告 担当：特養生活相談員 ②ダイバーショナルセラピー活動報告 担当：ダイバーショナルセラピー委員会 吉田 (三) ③リスクマネジメント 担当：リスクマネジメント委員会 高橋 (寛)、石川 ④身体拘束 担当：特養生活相談員</p>	<p>3/20 (月) 研修Ⅳ ①委員会活動報告 担当：特養生活相談員 ②ダイバーショナルセラピー活動報告 担当：ダイバーショナルセラピー委員会 吉田 (三) ③リスクマネジメント 担当：リスクマネジメント委員会 高橋 (寛)、石川 ④身体拘束 担当：特養生活相談員</p>

1. 特別養護老人ホーム吹上苑

【目標】

1. <利用者に対して：心に寄り添って>

コロナ禍でも、入居者ひとり一人が職員に想いを伝えられ、その人らしく楽しく過ごせるように支援する

2. <職員として：チームワーク>

えがりて（平等）の理念の下、それぞれの専門職が助け合い、チーム力を高める

3. <地域に対して：支え合い>

コロナ禍の入居者と家族のつながりを大切にする

【具体的活動計画】

1.

- 1) 入居者ひとり一人の想いが汲み取れるように、担当者を決めて意図的に関わる時間を持つ
- 2) ユニット行事やダイバーショナルセラピー活動を開催し、安全に配慮しながら楽しめる時間をつくる
- 3) コロナ禍で家族に会えない寂しさに寄り添うため、入居者の声に耳を傾ける

2.

- 1) それぞれの専門職がオンライン研修を受講し、法人内で伝達講習会を開催する
- 2) 職場内の人間関係を大切にし、互いに助け合い、体調不良の場合は無理せず休む
- 3) 多職種連携を活かし、様々な視点から入居者をとらえ、ひとり一人に合わせたケアを行う

3.

- 1) 広報誌『らららん』や毎月の『いい風たより』などを作成し、入居者の吹上苑での生活を伝える
- 2) 家族の気持ちや希望を大切にし、コロナ禍でも面会を開催する

2. ユニット型特別養護老人ホーム吹上苑

【目 標】

1. <利用者に対して：心に寄り添って>

コロナ禍でも入居者ひとり一人の心身の状態に合わせ、安心で安全な生活ができるように支援する

2. <職員として：チームワーク>

職員間での情報共有を迅速かつ的確に行い、連携・協働する

3. <地域に対して：支え合い>

コロナ禍でも家族や地域とのつながりを大事にする

【具体的活動計画】

1.

- 1) 毎日の暮らしの中での小さな変化を見逃さず、穏やかな一日が送れるように思いやりの気持ちを持ってケアを行う
- 2) ひとり一人の生活スタイルや希望、心身の状態に配慮した心地良い環境を提供する
- 3) 家族に会いたいという入居者の気持ちを尊重し、感染症等の最新情報を踏まえ、臨機応変に面会を行う

2.

- 1) コロナ禍でもスキルアップを目指し、専門性を深める研修に積極的に参加する
- 2) 感染症について学び、基本的な対策をしっかりと行い、体調不良時は休養できる体制を整える
- 3) 多職種からの情報や気づきを大切にし、家族の想いを尊重したケアを行う

3.

- 1) 広報誌『らららん』を年4回発行し、吹上苑の取り組みを地域に発信する
- 2) 家族には毎月の『いい風たより』で入居者の生活を伝える

社会福祉法人えがりて 年間行事予定

4月		5月		6月	
入居者予定	職員予定	入居者予定	職員予定	入居者予定	職員予定
1 金	入職時オリエンテーション	日 苑内喫茶 花＊花		水	
2 土		月 美容		木 バドドル体操(ショートステイ)	
3 日 苑内喫茶 花＊花		火		金	2年目研修
4 月 美容	経営改善会議	水 青空面会		土 青空面会	
5 火		木 バドドル体操(ショートステイ)		日 苑内喫茶 花＊花	
6 水 青空面会		金		月 美容	経営改善会議
7 木 バドドル体操(ショートステイ)		土		火	
8 金 バドドル体操(ショートステイ)	認知症ケア委員会	日 青空面会		水 青空面会 移動スーパ－	
9 土		月	地域包括支援センター業務会議 地域ケア会議	木 バドドル体操(特養) バドドル体操(あかね雲)	特養優先入所検討委員会 特養リーダー会議
10 日 青空面会		火		金 バドドル体操(ショートステイ)	認知症ケア委員会
11 月	コンチネンサポート委員会 地域包括支援センター業務会議 地域ケア会議	水 移動スーパ－	運営会議、栄養会議、身体的拘束適正化委員会、衛生委員会、防災・災害対策検討会議、感染対策会議、医療安全委員会	土	
12 火		木 バドドル体操(ユニット特養) バドドル体操(あかね雲)	特養優先入所検討委員会 ユニット特養リーダー会議	日 青空面会	
13 水 移動スーパ－	運営会議、栄養会議、身体的拘束適正化委員会、虐待防止検討委員会、衛生委員会、褥瘡予防対策委員会	金 バドドル体操(ショートステイ)		月	地域包括支援センター業務会議 地域ケア会議
14 木 バドドル体操(特養) バドドル体操(あかね雲)	特養優先入所検討委員会 特養リーダー会議	土		火	日中想定洪水時避難訓練①
15 金		日 書道教室		水	運営会議、栄養会議、身体的拘束適正化委員会、衛生委員会、防災・災害対策検討会議、ふっさい発災実行委員会
16 土 青空面会		月		木 バドドル体操(ショートステイ)	学習会(食中毒) デイサービス業務会議
17 日 書道教室		火		金	研修 I (認知症ケア)
18 月	学習会(感染症及び食中毒予防、緊急・急変時の対応、褥瘡予防)	水 青空面会		土	
19 火		木 バドドル体操(ショートステイ)	学習会(感染症及び食中毒予防、緊急・急変時の対応、褥瘡予防) デイサービス業務会議	日 家族会総会 書道教室	
20 水 青空面会		金		月	
21 木 バドドル体操(ショートステイ)	1年目研修 デイサービス業務会議	土		火	
22 金 美容	1年目研修	日 青空面会		水 青空面会	
23 土		月 理容		木	ユニット特養リスクマネジメント委員会 ユニット特養福祉用具活用委員会
24 日 青空面会		火		金 美容	法人リーダー現任教育研修
25 月 理容		水 青空面会		土	
26 火		木	特養リスクマネジメント委員会 特養福祉用具活用委員会	日 青空面会	
27 水		金 美容	ダイバーショナルセラピー委員会	月 理容	
28 木	苦情解決委員会 ユニット特養リスクマネジメント委員会 ユニット特養福祉用具活用委員会	土		火	
29 金		日		水	
30 土		月		木	
31		火			
	ユニット職員業務会議 特養介護支援専門員・生活相談員業務会議 4/13 看護課業務会議 栄養課業務会議 ショートステイ業務会議 居宅ケアマネ業務会議/週1回 あかね雲業務会議 介護予防教室業務会議	健康診断 おやつバイキング(デイ)	健康診断 ユニット職員業務会議 看護課業務会議 栄養課業務会議 ショートステイ業務会議 居宅ケアマネ業務会議/週1回 あかね雲業務会議 介護予防教室業務会議		ユニット職員業務会議 看護課業務会議 栄養課業務会議 ショートステイ業務会議 居宅ケアマネ業務会議/週1回 あかね雲業務会議 介護予防教室業務会議

社会福祉法人えがりて 年間行事予定

7月		8月		9月	
入居者予定	職員予定	入居者予定	職員予定	入居者予定	職員予定
1 金		月 美容	経営改善会議	木 バドドル体操(ショートステイ)	
2 土		火		金	
3 日 苑内喫茶 花*花		水		土 青空面会	
4 月 美容		木 バドドル体操(ショートステイ)		日 苑内喫茶 花*花	
5 火		金		月 美容	
6 水		土		火	特養・ショートステイ短時間勤務職員業務改善会議
7 木 バドドル体操(ショートステイ)		日 ユニット特養ふつきい祭		水 青空面会	
8 金 バドドル体操(ショートステイ)		月	地域包括支援センター業務会議	木 バドドル体操(あかね雲)	特養優先入所検討委員会 ダイバーショナルセラピー運営会議 ユニット特養リーダー会議
9 土		火		金 バドドル体操(ショートステイ)	
10 日	家族役員会	水 移動スーパー	運営会議、栄養会議、身体的拘束適正化委員会、衛生委員会、防災・災害対策検討会議、感染対策会議、虐待予防対策委員会、ふつきい啓発実行委員会	土	
11 月	地域包括支援センター業務会議 吹上地域ネットワーク会議	木 バドドル体操(特養) バドドル体操(あかね雲)	特養リーダー会議	日 青空面会	
12 火		金 バドドル体操(ショートステイ)	認知症ケア委員会	月	コンチネンツアサボート委員会 地域包括支援センター業務会議 地域ケア会議
13 水 移動スーパー	運営会議、栄養会議、身体的拘束適正化委員会、衛生委員会、防災・災害対策検討会議、感染対策会議、虐待予防対策委員会、ふつきい啓発実行委員会	土		火	
14 木 バドドル体操(ユニット特養) バドドル体操(あかね雲)	特養優先入所検討委員会 ユニット特養リーダー会議	日 苑内喫茶 花*花		水 移動スーパー	運営会議、栄養会議、身体的拘束適正化委員会、衛生委員会、防災・災害対策検討会議、感染対策会議、マニュアル見直し委員会
15 金	夜間想定洪水時避難訓練 特養ケアプラン学習会	月		木 バドドル体操(ショートステイ)	デイサービス業務会議
16 土		火		金	研修Ⅱ(虐待防止、リスクマネジメント、福祉用具)
17 日 書道教室		水	日中想定洪水時避難訓練②	土	
18 月		木 バドドル体操(ショートステイ)	特養優先入所検討委員 デイサービス業務会議	日 書道教室	
19 火		金	研修Ⅱ(虐待防止、リスクマネジメント、福祉用具)	月 敬老会	
20 水	研修Ⅰ(認知症ケア)	土		火	学習会(感染症、看取り介護、身体拘束)
21 木 バドドル体操(ショートステイ)	デイサービス業務会議	日 書道教室		水 青空面会	
22 金 美容	ダイバーショナルセラピー委員会	月 理容	包括型自立支援型地域ケア会議	木 バドドル体操(ユニット特養)	特養リスクマネジメント委員会 特養福祉用具活用委員会
23 土		火		金 美容	ダイバーショナルセラピー委員会
24 日 特養ふつきい祭		水		土	
25 月 理容		木	ユニット特養リスクマネジメント委員会 ユニット特養福祉用具活用委員会	日 青空面会	
26 火		金 美容		月 理容	
27 水	あかね雲運営推進会議	土		火	
28 木	特養リスクマネジメント委員会 特養福祉用具活用委員会	日		水	
29 金	特養ケアプラン学習会	月		木	
30 土		火		金	
31 日		水			
おやつバイキング(特養1階)	ユニット職員業務会議 看護課業務会議 栄養課業務会議 ショートステイ業務会議 居宅ケアマネ業務会議/週1回 あかね雲業務会議 介護予防教室業務会議	おやつバイキング(特養2階)	ユニット職員業務会議 特養介護支援専門員・生活相談員業務会議 8/10 看護課業務会議 栄養課業務会議 ショートステイ業務会議 居宅ケアマネ業務会議/週1回 あかね雲業務会議 介護予防教室業務会議	日中想定火災時避難訓練 栄養課出張寿司(ショートステイ)	ユニット職員業務会議 看護課業務会議 栄養課業務会議 ショートステイ業務会議 居宅ケアマネ業務会議/週1回 あかね雲業務会議 介護予防教室業務会議

社会福祉法人えがりて 年間行事予定

	10月		11月		12月	
	入居者予定	職員予定	入居者予定	職員予定	入居者予定	職員予定
1	土		火		木	バドル体操(ショートステイ)
2	日	苑内喫茶 花*花	水		金	
3	月	美容	木	バドル体操(ショートステイ)	土	
4	火		金		日	ガラス越し面会
5	水	青空面会	土	青空面会	月	美容
6	木	バドル体操(ショートステイ)	日	苑内喫茶 花*花	火	
7	金	講演会(高齢者虐待防止)	月	美容	水	ガラス越し面会
8	土		火		木	バドル体操(特養) バドル体操(あかね雲)
9	日	青空面会	水	青空面会 移動スーパー	金	バドル体操(ショートステイ)
10	月		木	バドル体操(ユニット特養) バドル体操(あかね雲)	土	
11	火		金	バドル体操(ショートステイ)	日	ガラス越し面会
12	水	移動スーパー	土		月	
13	木	バドル体操(特養) バドル体操(あかね雲)	日	書道教室	火	ガラス越し面会
14	金	バドル体操(ショートステイ)	月		水	移動スーパー
15	土		火		木	バドル体操(ショートステイ)
16	日	書道教室	水		金	
17	月		木	バドル体操(ショートステイ)	土	ガラス越し面会
18	火		金		日	書道教室
19	水	青空面会	土		月	
20	木	バドル体操(ショートステイ)	日	青空面会	火	
21	金		月		水	
22	土		火		木	ガラス越し面会
23	日	青空面会	水	青空面会	金	美容
24	月	理容	木		土	ガラス越し面会
25	火		金	美容	日	
26	水		土		月	理容
27	木		日	青空面会	火	
28	金	美容	月	理容	水	ガラス越し面会
29	土		火		木	
30	日	青空面会	水		金	
31	月				土	
	栄養課出張寿司(デイサービス)	健康診断 ユニット職員業務会議 看護課業務会議 栄養課業務会議 ショートステイ業務会議 居宅ケアマネ業務会議/週1回 あかね雲業務会議 介護予防教室業務会議	インフルエンザ予防接種 栄養課出張寿司(あかね雲)	インフルエンザ予防接種 ユニット職員業務会議 看護課業務会議 栄養課業務会議 ショートステイ業務会議 居宅ケアマネ業務会議/週1回 あかね雲業務会議 介護予防教室業務会議	栄養課出張寿司(ユニット型特養1階)	ユニット職員業務会議 特養介護支援専門員・生活相談員業務会議 12/14 看護課業務会議 栄養課業務会議 ショートステイ業務会議 居宅ケアマネ業務会議/週1回 あかね雲業務会議 介護予防教室業務会議

社会福祉法人えがりて 年間行事予定

	1月		2月		3月	
	入居者予定	職員予定	入居者予定	職員予定	入居者予定	職員予定
1	日		水	ガラス越し面会		水
2	月		木	バドル体操(ショートステイ)		木
3	火		金	節分		金
4	水		土			土
5	木	ガラス越し面会 バドル体操(ショートステイ)	日	ガラス越し面会		日
6	金		月	美容	経営改善会議	月
7	土	ガラス越し面会	火			火
8	日		水	ガラス越し面会 移動スーパー		水
9	月		木	バドル体操(特養) バドル体操(あかね雲)	特養優先入所検討委員会 特養リーダー会議	木
10	火	ガラス越し面会	金	バドル体操(ショートステイ)	認知症ケア委員会	金
11	水	移動スーパー	土			土
12	木	バドル体操(あかね雲)	日	ガラス越し面会		日
13	金	バドル体操(ショートステイ)	月		コンチネンサポーター委員会 地域包括支援センター業務会議 吹上地域ネットワーク会議	月
14	土	ガラス越し面会	火	ガラス越し面会	学習会(腰痛予防、 口腔ケア)	火
15	日	書道教室	水		運営会議、栄養会議、身体的拘束適正化 委員会、衛生委員会	水
16	月		木	バドル体操(ショートステイ)	デイサービス業務会議	木
17	火	ガラス越し面会	金			金
18	水		土	ガラス越し面会		土
19	木	バドル体操(ショートステイ)	日	書道教室		日
20	金		月		研修IV(委員会活動報告、ダイ バーショナルセラピー活動報告、リ スクマネジメント、身体拘束)	月
21	土		火			火
22	日	ガラス越し面会	水		あかね雲運営推進会議	水
23	月	理容	木	ガラス越し面会	ユニット特養リスクマネジメント委員会 ユニット特養福祉用具活用委員会	木
24	火		金	美容		金
25	水	ガラス越し面会	土			土
26	木	バドル体操(ユニット特養)	日	ガラス越し面会		日
27	金	美容	月	理容		月
28	土		火			火
29	日	ガラス越し面会				水
30	月					木
31	火					金
	栄養課出張寿司(特養2階)	ユニット職員業務会議 看護課業務会議 栄養課業務会議 ショートステイ業務会議 居宅ケアマネ業務会議/週1回 あかね雲業務会議 介護予防教室業務会議	夜間想定火災時避難訓練 栄養課出張寿司(特養1階)	ユニット職員業務会議 看護課業務会議 栄養課業務会議 ショートステイ業務会議 居宅ケアマネ業務会議/週1回 あかね雲業務会議 介護予防教室業務会議	栄養課出張寿司(ユニット特養2階)	ユニット職員業務会議 看護課業務会議 栄養課業務会議 ショートステイ業務会議 居宅ケアマネ業務会議/週1回 あかね雲業務会議 介護予防教室業務会議

3. 短期入所生活介護事業所吹上苑

【目標】

1. <利用者に対して：心に寄り添って>

新型コロナ感染対策を徹底し、いつも安心して滞在できる環境を整える

2. <職員として：チームワーク>

コロナ禍において、無理せず働ける職場をつくるため、職員の体調管理に気を配る

3. <地域に対して：支え合い>

虐待が疑われる地域高齢者や災害時の独居高齢者の、緊急時における受入機関としての機能を果たす

【具体的活動計画】

1.

- 1) 事業所内の基本的感染対策を徹底する
- 2) 季節を感じられる行事を毎月企画する
- 3) 日常生活の介護を安全に提供する

2.

- 1) 十分な休養と栄養補給を心掛けて、ストレスをため込まない
- 2) 体調不良時は、無理せず休む
- 3) 職員の体調不良時には報告、連絡、相談を密にする

3.

- 1) 地域包括支援センターからの要請に迅速に対応できるように体制を整える
- 2) 居宅介護支援事業所や家族とのこまめな情報交換を心掛ける
- 3) 災害時には必要に応じて地域と連携し、受入体制を整える

短期入所生活介護事業所吹上苑 タイムスケジュール

時間	利用者		職員	
7:00	起床		申し送り	朝の準備
7:30			起床介助	
8:00	朝食			
8:30				
9:00	バイタル測定		迎え	荷物チェック
9:30				
10:00	おやつ(牛乳)	入浴		
10:30	体操 レクリエーション			
11:00				
11:30				
12:00	昼食		休憩	
12:30				
13:00		入浴	休憩	申し送り
13:30			記録	
14:00	レクリエーション		午睡	
14:30				
15:00	おやつ		休憩	
15:30				
16:00	レクリエーション		送り	申し送り
16:30				消毒
17:00				
17:30	早夕食(夕食付でお帰りの方)			
18:00	夕食			
18:30				
19:00	就寝		就寝介助	

短期入所生活介護事業所吹上苑

年間行事予定

月	行事
4月	ボールゲーム大会
5月	運動会
6月	縁日
7月	すいか割り
	かき氷フェスティバル
8月	ふっきい祭
9月	敬老会
	出張寿司
10月	ラーメン祭り
11月	打ち上げ花火大会
12月	クリスマス会
	忘年会
1月	新年会
	紅白ゲーム大会
2月	豆まき
	おやつバイキング
3月	ひな祭り
	お花見

毎月	行事
第1木曜日 第2金曜日 第3木曜日	パドル体操
週1回	美容
第2木曜日	理容
月1回不定期	おやつ作り
月1回不定期	パブリックシネマ
随時	季節に合わせた壁面飾り作成

4. 栄養課

【目標】

1. <利用者に対して：心に寄り添って>
利用者や家族、地域の様々なニーズや変化を把握し、食事の面で利用者の生活を支える
2. <職員として：チームワーク>
全ユニットへの中央配膳システムを構築する
3. <地域に対して：支え合い>
デイサービス、ショートステイ、あかね雲、介護予防教室を利用する高齢者の食生活を支援する

【具体的活動計画】

1.
 - 1) 職員の知識や技術を向上させ、安全でおいしい食事を作るため、勉強会を年間 5 回実施する
 - 2) 季節や節句を思い出し楽しんでいただけるよう、行事食を年間 48 回実施する
 - 3) 新メニューを開発し、献立に取り入れる
 - 4) 看取りの時期には、味覚や嗅覚で思い出の料理や好きな物を楽しめるよう支援する
 - 5) 感染症拡大時や災害時に備え BCP（事業継続計画）を策定し、臨機応変に安心して食べられる食事を提供する
2.
 - 1) 衛生管理を徹底し、彩り良くおいしそうに盛り付け、適温で配膳する
 - 2) 盛り付け、配膳、下膳、洗浄を栄養課で担い、職員が利用者のケアに時間が取れるよう協力する
 - 3) 利用者ひとり一人に適した食事形態、食事量、食具で食事を届ける
3.
 - 1) 季節や旬を楽しんでいただける食事を提供する
 - 2) ひとり一人に適した食事形態を提案する

栄養課 年間行事予定

月	日	曜日	行事食	行事名	DT	ユニット行事
4	3	日	いなり寿司・サラダ巻き寿司	お花見献立	苑内喫茶花 * 花 手作り菓子提供	
	8	金	肉団子の彩り蒸し・桜もち	花祭り献立		
	29	金	かつ丼	昭和の日		
5	3	火	赤飯献立(松花堂弁当)	憲法記念日	苑内喫茶花 * 花 手作り菓子提供	おやつバイキング (デイサービス)
	4	水	菜飯・カラス鯿のグリーンソース	みどりの日		
	5	木	チキンライス・ハンバーグ・柏もち	こどもの日(端午の節句)		
	8	日	太巻き寿司	母の日		
6	19	日	さっぱりサラダ寿司	父の日	苑内喫茶花 * 花 手作り菓子提供	
	21	火	冷汁うどん・すいか	夏至		
	26	日	手作りおやつ	選択おやつ		
7	7	木	七夕素麺・天ぷら	七夕の節句	苑内喫茶花 * 花 手作り菓子提供	おやつバイキング (特養1階)
	18	月	焼きそば・すいか	海の日		
	23	土	うな丼	土用の丑の日		
8	11	木	冷し中華	山の日	苑内喫茶花 * 花 手作り菓子提供	おやつバイキング (特養2階)
	13	土	おはぎ	迎え盆		
	16	火	穴子丼・いがまんじゅう	送り盆		
9	1	木	防災献立 おにぎり・豚汁	防災の日	苑内喫茶花 * 花 手作り菓子提供	寿司 (ショートステイ)
	9	金	栗ごはん	重陽の日(菊の節句)		
	10	土	月見まんじゅう	十五夜		
	19	月	松茸ごはん献立(松花堂弁当)	敬老の日		
	23	金	おはぎ	秋分の日(秋の彼岸)		
10	8	土	月見まんじゅう	十三夜	苑内喫茶花 * 花 手作り菓子提供	寿司 (デイサービス)
	9	日	手作りおやつ	選択おやつ		
	10	月	いなり寿司	スポーツの日		
	31	月	南瓜のデザート	ハロウィーン		
11	3	木	栗おこわ(松花堂弁当)	文化の日	苑内喫茶花 * 花 手作り菓子提供	寿司 (あかね雲)
	14	月	ゼリーフライ	埼玉県民の日		
	15	火	お赤飯・金目鯛	七五三		
	23	水	お刺身	勤労感謝の日		
12	22	木	冬至南瓜・柚子	冬至		寿司 (ユニット型特養1階)
	25	日	ピラフ・星のコロッケ	クリスマス		
	31	土	年越しそば	年越し		
1	1	日	おせち料理(松花堂弁当)	新年会		寿司 (特養2階)
	2	月	正月料理・おしるこ	お正月		
	3	火	正月料理	お正月		
	7	土	七草粥	七草の節句		
	9	月	お刺身献立	成人の日		
	11	水	おしるこ	鏡開き		
	20	金	冬のあったか献立・甘酒	大寒		
2	3	金	太巻き寿司	節分・豆まき		寿司 (特養1階)
	4	土	春の彩り献立	立春		
	11	土	海鮮漬け盛り	建国記念日		
	14	火	手作りスイーツ	バレンタインデー		
	23	木	天ぷら・お刺身	天皇誕生日		
3	1	水	春の献立(松花堂弁当)	創立記念日		寿司 (ユニット型特養2階)
	3	金	菜の花ちらし寿司・桜もち	雛祭り(桃の節句)		
	14	火	手作りスイーツ	ホワイトデー		
	21	火	ちらし寿司・ぼた餅	春分の日(春の彼岸)		

計48回 * 栄養会議は毎月実施 * 害虫駆除 4週間毎:年間13回 * グリストラップ清掃 毎月

5. デイサービスセンター吹上苑

【目 標】

1. <利用者に対して：心に寄り添って>

利用者ひとり一人のニーズを把握し、自分らしい在宅生活が継続できるよう、アクティビティを導入したレクリエーションを強化する

2. <職員として：チームワーク>

ひとり一人がそれぞれの役割・専門性を認め、尊重し、持ち味を発揮できるよう、チームケアを実践する

3. <地域に対して：支え合い>

医療や介護を必要とする利用者が住み慣れた地域で安心して在宅生活を続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築を推進する

【具体的活動計画】

1.

- 1) 担当介護支援専門員と密に連絡をとり、利用者、家族のニーズを把握する
- 2) 利用日の過ごし方を自ら選択できる、心地良い居場所をつくる
- 3) アクティブシニアのための新たな運動メニュー（リハビリ体操・屋外散歩）を導入する

2.

- 1) 毎月の業務会議で職員各々から議題を挙げてもらい、活発な意見交換と業務改善を行う
- 2) 業務を円滑に行うために、業務内容を把握した上で、職員各々の役割を分担する
- 3) 職員ひとり一人が健康管理を行い、チームで新型コロナ感染対策を継続する

3.

- 1) 地域の会議や自立支援型地域ケア会議、オンライン研修に参加し、必要な情報を得るとともに、地域の事業所との連携を深める
- 2) 地域の医療機関に、利用者の心身の状態などの情報提供を行い、医療と介護の連携を密にする
- 3) 家族が相談しやすいように、信頼関係を構築する

デイサービスセンター吹上苑 タイムスケジュール

時間	利用者	職員
7:45		
8:00	迎	朝の準備
8:30	え	掃除
9:00	①	
9:30	②	
10:00	③	
10:30	バイタル測定	
11:00	入浴	
11:30	大人の脳トレ 頭の体操 ラジオ体操	
12:00		休憩①
12:30	昼食	休憩②
13:00		
13:30	苑内散歩	
14:00	午睡	
14:30	おやつ作り	
15:00	クラブ活動	
15:30	消毒	
16:00	記録	
16:30	おたより帳記入	
17:00	リハビリ体操	
17:30	レクリエーション	
18:00	おやつ	
18:30		
19:00	送り	
19:30	①	
20:00	②	
20:30	③	
21:00	タオルたたみ	
21:30	クロージング	
22:00	消毒	

デイサービスセンター吹上苑 年間行事予定

月	苑内・苑外	行事名	担当
4月	苑外	チューリップ鑑賞	内野
	苑内	おやつ作り	岩崎(恵)
5月	苑外	バラ鑑賞	春原
	苑内	おやつバイキング	柳澤
6月	苑内	運動会	齋藤・平井
7月	苑内	すいか割り	野田
8月	苑内	おやつ作り	柳澤
9月	苑内	おやつ作り	宮前
10月	苑外	コスモス鑑賞	富田
	苑内	出張寿司	高橋(陽)
11月	苑外	古代蓮散歩	岩崎(恵)
	苑内	おやつ作り	野田
12月	苑内	クリスマス会	平井・齋藤
1月	苑内	新年会	春原・高橋(陽)
2月	苑内	豆まき	富田
3月	苑外	桜観賞	内野
	苑内	おやつ作り	田端(江)

※毎月誕生会開催

クラブ等趣味の活動

活動名	頻度	担当
ネイルクラブ	月2回	田端(江)
絵手紙クラブ	月2回	春原
手芸クラブ	月2回	内野
書道クラブ	月2回	岩崎(恵)
歌クラブ	月2回	齋藤
紙芝居クラブ	月1回	富田
折り紙クラブ	月2回	野田
こでまりの会(生け花クラブ)	月2回	平井・高橋(陽)
誕生会	随時	高橋(陽)・柳澤・平井

6. あかね雲吹上苑（地域密着型通所介護）

【目 標】

1. <利用者に対して：心に寄り添って>

利用者が在宅生活を続けるための体力を維持できるように、介護予防のための運動を導入する

2. <職員として：チームワーク>

変化する環境に対応しながら、安全・安心なサービスを提供し続ける体制を整える

3. <地域に対して：支え合い>

柔軟に対応ができる小規模事業所の良さを活かし、独居高齢者等の在宅生活の継続を目指したサービスを提供する

【具体的活動計画】

1.

- 1) 職員は利用者に必要な指導を行うため、リハビリ体操を習得する
- 2) 利用者のニーズに応じて、様々な体操メニューを企画する
- 3) 季節を感じる行事や趣味を取り入れた活動を企画する
- 4) LIFE（科学的介護情報システム）を活用した PDCA サイクルを開始する

2.

- 1) あかね雲 BCP（事業継続計画）を策定する
- 2) 研修や学習会での学びによって、認知症ケアのプロフェッショナルとしての対応力を身につける
- 3) エッセンシャルワーカーとして、各自が体調管理に気をつけ、施設内・送迎車内の感染対策を徹底する

3.

- 1) 運営推進会議や地域ケア会議の際、居宅・包括の介護支援専門員からの情報収集に努める
- 2) 独居高齢者等の送り出しサービスや朝食サービスを開始する
- 3) 障害のある方を受け入れる「基準該当生活介護」を継続する
- 4) 利用者のケア等に関して、情報収集や意見交換ができるように、家族との関係性を築く

あかね雲吹上苑 タイムスケジュール

時間	利用者		職員		
7:30					
8:00			申し送り		
8:30	迎 え	バイタル 測定	入浴	朝の準備	掃除
9:00					
9:30					
10:00	【脳活性化トレーニング】 ラジオ体操・リズム体操 プリント課題 広告パズル・ことば合わせ 音読・歌 口腔体操				
10:30					
11:00					
11:30					
12:00	食事盛り付け 昼食 口腔ケア		休憩①		
12:30					
13:00			申し送り		
13:30	昼休み 歩行訓練(散歩)		休憩②		
14:00					
14:30	【脳活性化トレーニング】 音楽体操 スリーAゲーム		クラブ活動 ボランティア公演		
15:00			掃除		おたより帳記入
15:30			記録		
15:30	おやつ				
15:30	太鼓演奏				
16:00					
16:30	送 り	夕方 の活動			
17:00			クロージング		
17:30			消毒		
18:00					

あかね雲吹上苑 年間行事予定

月	苑内・苑外	行事名	担当
4月	苑外	お花見	当日勤務職員
5月	苑外	バラ散策	坪田
6月	苑内	洪水時避難訓練①	井上(貴)
	苑外	あじさい散策	松本(弘)
7月	苑内	七夕	田崎
8月	苑内	すいか割り	松澤
		洪水時避難訓練②	井上(貴)
9月	苑内	火災時避難訓練①	井上(貴)
10月	苑内	運動会	渡辺
	苑外	コスモス散策	田崎
11月	苑内	栄養課出張寿司	杉本
12月	苑内	忘年会	島崎
1月	苑外	初詣	当日勤務職員
2月	苑内	豆まき	坪田
		火災時避難訓練②	井上(貴)
3月	苑外	お花見	当日勤務職員

※上記の他、「買い物」や「調理」など希望に応じた行事を行う

クラブ等趣味の活動

活動名	頻度	担当
手芸クラブ	月2回	田崎
書道クラブ	月2回	渡辺
塗り絵クラブ	月2回	坪田
国語クラブ	月3回	松澤
絵手紙クラブ	月2回	島崎
園芸クラブ	年6回	松本(弘)
美容クラブ	随時	島崎・松澤

7. 介護予防教室吹上苑（はつらつデイサービス）

【目 標】

1. <利用者に対して：心に寄り添って>

長期化するコロナ禍においても、カラダ・アタマ・ココロの健康を維持し、地域で元気な生活が続けられるように支援する

2. <職員として：チームワーク>

職員ひとり一人が新型コロナ感染対策を継続し、安心安全な介護予防サービスを提供する

3. <地域に対して：支え合い>

利用者が、在宅で元気に楽しく暮らし続けられるように支援し、地域全体の健康寿命の延伸に貢献する

【具体的活動計画】

1.

- 1) 自立体力向上運動・脳トレ・スリーA増田方式等を実践し、楽しくコミュニケーションをとる
- 2) 自宅でも楽しく生活できる介護予防メニューを提供する
- 3) シニア向けの運動・脳トレ等の情報を様々な場面（インターネット・書籍・ラジオ・テレビ等）で収集し、事業所内の勉強会で一緒に成長する
- 4) 長期化するコロナ禍においても気持ちの落ち込みがないようにフォローしていく

2.

- 1) 教室内外の消毒・換気等の感染対策を継続する
- 2) コロナの正しい情報（法人内での会議・伝達事項等）を理解する
- 3) 毎日、メニューの中で利用者に感染対策（手洗い・マスク等）の重要性を伝えて、具体的に指導する

3.

- 1) 地域包括支援センターと連携して、地域に潜在している要援護高齢者をサービスに招き入れる
- 2) 鴻巣市自立支援型地域ケア会議に参加し、各々の専門職（理学療法士・薬剤師・管理栄養士）からのアドバイスを実践に活用する

介護予防教室吹上苑 タイムスケジュール

時間	利用者		職員	
7:45				
8:00				
8:30				
9:00	迎え		朝の準備	
9:30				
10:00		健康チェック		
10:30		体操		
11:00		脳トレ	お茶	
11:30				
12:00			スリーAゲーム 口腔体操	
12:30			昼食	昼食
13:00				クロージング
13:30	送り			
14:00				消毒
14:30				休憩
15:00				記録
15:30				
16:00				
16:30				ケアプラン作成
17:00				
17:30				
18:00				

8. 居宅介護支援事業所吹上苑

【目標】

1. <利用者に対して：心に寄り添って>

利用者・家族の意向に沿い、在宅での自立支援や重度化防止が目指せるよう、ケアマネジメントを行う

2. <職員として：チームワーク>

情報共有、意見交換等で連携を密にし、いつでも話合い、支え合える職場環境をつくる

3. <地域に対して：支え合い>

超高齢社会に向け、地域で暮らす高齢者、介護者、介護が必要な方々が身近に感じられる事業所を目指す

【具体的活動計画】

1.

1) ケアプラン様式の改定に伴い、利用者・家族の意向から、目指したい生活がより具体的にイメージできる記載にする

2) 感染症・自然災害等の緊急事態に備え、常に予測を立て、日頃から必要なサービス供給の情報を随時提供する

3) 看取りの時期は本人の意思確認を定期的に行い、本人の望む看取りが実現できるよう、医療機関や事業所と綿密に計画する

2.

1) 各々で体調管理を心掛け、体調不良の時でも担当利用者を引継ぎできるように、業務会議や業務管理ソフトの活用で、利用者情報を共有しておく

2) コロナ禍でも、オンライン研修やインターネットなどで最新情報を収集する

3) 毎週の業務会議を活用し、情報共有や困難事例の対応などを話し合う

3.

1) 地域包括支援センター主催の地域ケア会議や鴻巣市自立支援型地域ケア会議に参加し、インフォーマルサービスを加えた自立支援型ケアプランの立案に取り組む

2) 医療と連携して地域の包括的な支援・サービス提供体制を整え、必要な方々に届ける

3) 地域の最新感染情報を収集し、利用者家族に正しい情報を伝える

4) 吹上地域の高齢化率上昇に伴い、随時新規相談を受け入れる

9. 鴻巣地域包括支援センター吹上苑

【目標】

1. 高齢者が住み慣れた地域で健康で生き生きと安心して暮らし続けられるように支援する
2. 自立支援、介護予防・重度化防止に向けたケアマネジメントを徹底する
3. 認知症支援策の充実を図る
4. 地域の社会資源の把握に努め、地域におけるネットワーク構築を進める
5. 地域の関係機関との連携を強化する

【具体的活動計画】

1.
 - 1) 関係機関との連携を密に行い、スムーズな支援に努める
 - 2) 日々の相談から、いち早く権利擁護の必要性を判断し、素早く対応する
 - 3) 高齢者対応連絡調整会議に参加して市や他包括と連携し、困難事例にも迅速な対応ができるように情報を共有する
 - 4) 職種に特化した研修会に参加する
 - 5) ケアラーからの相談には関係機関と連携を図りながら、ケアラーが孤立することのないように相談支援を行う
2.
 - 1) 圏域の介護支援専門員と積極的に情報交換を行い、連携、協働の体制づくりをする
 - 2) 中央型、包括型の自立支援型地域ケア会議、圏域の地域ケア会議、ネットワーク会議、地域住民の意見等から地域課題を抽出、分析する
 - 3) 地域ケア推進会議を活用して、高齢者の自立支援に不足するサービスを市へ提言していく
3.
 - 1) 地域の住民が認知症の方の支援の担い手として活躍できるように、情報提供や活動につなげる支援をする
 - 2) 鴻巣市認知症初期集中支援担当者との連携に努め、認知症高齢者や家族、介護支援専門員へのスムーズな支援につなげる
 - 3) 「認知症ケアパス」を積極的に活用して認知症の相談支援を行う
4.
 - 1) 地域における社会資源（サロン等のインフォーマルサービスを含む）の一覧表を作成する
 - 2) 生活支援体制整備事業（1層、2層協議体）へ参加する
5.
 - 1) 入退院時支援ルール、医療と介護の連携シート、医療介護連携ノート等を活用する
 - 2) ネットワーク会議の開催等で地域の関係機関との連携を強化し、顔の見える関係づくりに努める